

魚病感染防御抗原を表層提示した酵母を用いた経口ワクチンの開発

ウイルス病被害の増大



薬剤による治療不可



ワクチンによる防除が有効

従来の注射ワクチン

感染防御効果は高い
しかし、
膨大な労力と特殊な
機材が必要



飼育個体数の多い養殖魚に対しては経口ワクチンが効率的

感染防御抗原

酵母

ウイルス感染抗原タンパク質のDNA解析

感染防御抗原タンパク質を細胞表層にディスプレイした酵母の作成

海水魚の消化系および特異的免疫機能分化時期の決定による経口ワクチン投与時期の推定

酵母の培養および精製と微粒子飼料への添加

経口ワクチンが開発されると

コスト削減の可能性！



通常の給餌でワクチン投与が可能！

魚病被害の低減による養殖魚の安定生産
経口ワクチンの新たな疾病への応用